足立区立第四中学校　　令和５年７月２０日　第５号

第四中だより

〇自ら学ぶ人　〇心のひろい人　〇たくましく生きる人　　校長　難波　浩明

前期前半終了～セレンディピティを得るために～

新型コロナウイルス感染症が、５月の連休後５類扱いとなるに伴い、少しずつ制限も解かれ、様々な活動や行事が以前の形に戻ってきました。

修学旅行では、３年生の皆さんが新幹線やバスの中で声に出して笑顔で談笑する姿や、班員と協力しながら、時間を意識して自ら決めたコースを巡っていた姿が印象的でした。

運動会では、４年ぶりにご来賓や多くの保護者の方々に見守られながら、懸命に競技に取り組んだり、バトンをつないだりする姿が見られました。伝統の御神楽も、先輩から後輩に確かに引き継がれました。１年生の皆さんが元気に応援している姿も印象的でした。

２年生の皆さんは、６月の下旬に、職場体験を行いました。学校としては、４年ぶりの実施でした。３日間という短い期間ではありましたが、職業について考えたり、自分の将来について考えたりする貴重な体験となりました。今回の職場体験では、６０以上の事業所の皆様方にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

さて、話は変わりますが、「セレンディピティ」という言葉を聞いたことはありますか。この言葉は、「思いもよらなかった偶然がもたらす幸運」を意味する言葉だそうです。「セレンディップと３人の王子」という「王子たちが旅先で優れた能力や才気によって、有益なものを偶然発見して手に入れる物語」にその由来があるとのことです。

「セレンディピティ」の例としてよく知られているのが、「ペニシリン」の発見です。「ペニシリン」は、今では、病原細菌の繁殖を抑える治療薬として有名ですが、実は、始めから意図して発見されたものではなく、ブドウ球菌の研究中に、シャーレの中に偶然発生したアオカビから生まれたものと言われています。また、お店でよく見かける「ポストイット」という付箋も、実は、粘着性の強い製品を開発しようとしていたところ、失敗して、粘着性の弱い製品ができてしまったことがきっかけで、誕生したものです。

この夏休み、この「セレンディピティ」の考え方を生かし、日々の学習や様々な体験、読書などに取り組み、「まずはやってみる」「行動にうつす」「様々な価値観や考え方にふれてみる」を大切にして、新たな幸運を見つけてほしいと思います。

＜四中生の活躍＞　＊敬称略　＊（　）は所属学年

・祝　空手部　　第２６回関東中学生空手道選手権大会
女子団体組手　第３位　片岡優(3)片岡美(3)刈込(2)宮本(3)古谷(1)
女子団体形　　第３位　土屋(2)片岡優(3)片岡美(3)野中(2)古谷(1)
女子個人組手　優勝　刈込　和花(2)

・祝　剣道部　　５ブロック夏季大会　女子団体戦　優勝　　都大会出場
岡野(2)　石井(2)　星野(3)　津田(2)　秋山(2)　佐藤(2)　小野寺(1)
都大会個人戦出場　　星野かえで(3)　　石井　玲妃(2)

・祝　第７３回　社明運動作文コンテスト
優秀賞　小出　鈴子(2)　優良賞　齊藤　里桜(2)　刈込　和花(2)

・祝　第７３回　社明運動標語コンテスト入賞
優秀賞　渡邉　由芽(1)　優良賞　木下　翔太(1)

＜前期前半アラカルト＞

３年グループエンカウンターの授業

生徒総会

２年　職場体験

２年　職場体験

１年　TAKARATOMY　SDGs 出張授業

剣道部５ブロ夏季大会女子団体優勝

夏祭ボランティア

夏祭ボランティア